

(別紙)

「経済交流と貿易の振興プラン（改定版）」に係る
パブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
	■京都市内や府中南部地域の企業に対する集荷体制の整備、リードタイムの短縮やコストの削減に係る取組を希望	・府内利用企業促進のための府中南部地域の集荷体制の構築 ・トライアル利用促進補助金の対象者拡充等
	■中国・韓国への直通航路の誘致と、C I Qの迅速な対応の仕組み作りを希望 ■荷主まで含めた、トライアル利用促進補助金の対象者拡充等コンテナ貨物の取扱拡大に向けた取組を歓迎 ■経済界との連携を密にするための京都舞鶴港利用促進パートナーシップ企業の組織化は是非とも希望 ■中国や韓国など海外の企業との連携も希望	・C I Q（税関、出入国、検疫）制度の整備 ・トライアル利用促進補助金の対象者拡充等 ・京都舞鶴港利用促進パートナーシップ企業の組織化 ・北東アジア諸国でのプロモーション活動、ネットワーク会議の開催、東北3省での集荷活動の海外専任スタッフの配置
	■海外におけるポートセールス特に中国との貿易振興や経済交流を京都舞鶴港を核として積極的に進めることを希望	・北東アジア諸国でのプロモーション活動、ネットワーク会議の開催、東北3省での集荷活動の海外専任スタッフの配置
	■国際交流の促進、観光誘致活動、文化・学術交流の促進など多面的交流などを更に図るべき。 ■港湾及び港湾周辺地区の整備や経済交流を通して交流の分野を広げ、多彩な事業展開、環境整備につなげてほしい。 ■国内外からの入り込み客の増加させるためにフェリーだけでなくJRやバス会社などどタイアップした誘客も企画・計画してほしい。	・大学・研究機関等アカデミックなネットワークを活用した海外企業との交流、企業誘致の推進 ・海外の自治体、経済界等とのネットワークの構築 ・対岸諸国（中国、韓国、ロシア等）との連携強化 ・京都舞鶴港を活用した物流拠点や環境関連企業の誘致 ・関西全体をカバーする日本海側の内貿機能について、京都府内の広域物流体系の重要な一部であることから、その機能の強化をめざし、戦略的に取り組む。

項目	意見の要旨	府の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 航路は、ハード整備の一環とであり、航路についても投資すべき。 ■ 世界のドッグ港として位置付け、多くの船が就航する環境作りを進める必要がある。 ■ 観光という大きな財産を活かして、国際フェリーの誘致が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存航路の維持・安定化と新規航路開拓の推進 ・ 対岸諸国との物流・人流の機能強化を目指し、環日本海諸港と連携し、航路誘致やポートセールスを推進
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環日本海諸港との連携、特に、若狭湾内での連携強化など、京都舞鶴港の特徴と関西経済圏の需要に応じた連携を希望 ■ 京都舞鶴港を中心とした環日本海諸港と大阪湾諸港との機能分担により、関西全体の効率的な物流体系の構築を希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都舞鶴港、敦賀港を含む若狭湾広域連携プロジェクトの推進 ・ 若狭湾、大阪湾、伊勢湾超高域連携構想—「(仮称)ハイパー・ベイ・トライアングル」の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京都舞鶴港利用企業の拡充のためのインセンティブ補助金を希望 ■ 京都舞鶴港起用促進に繋がる一層のインセンティブの導入と小規模必要荷主が舞鶴港の利用意欲を高めるようなインセンティブが必要 ■ 背後地への工場や物流センターの積極的な誘致を希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トライアル利用促進補助金の対象者拡充等 ・ 京都舞鶴港を活用した物流拠点や環境関連企業の誘致